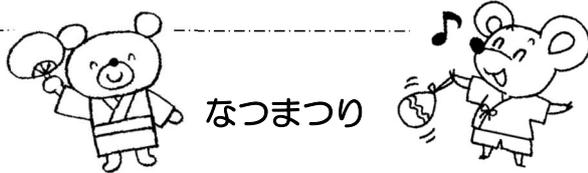




尚徳福祉会 末長こぐま保育園

気持ちよく晴れ渡った青空と共に、夏がやってきました。子どもたちは、汗をかきながらも元気に走りまわって遊んでいます。暑い暑い夏ですが、たくさん遊んで、いっぱい食べ、そしてしっかりと休息を取りながら、元気に過ごしていきたいと思います。



みんなが楽しみにしていた夏まつり、無事に終わることができました。夏まつりに向けて、かき氷やたこ焼き、うちわ、山車などたくさんの製作を行い、みんなで一緒に少しずつ準備をしていきました。

当日は、盆踊りを踊ったり、山車を元気に引いたり、夜店を回ったり、楽しいことが盛りだくさんでした！夜店では、緊張しながらもお店当番のきりん組さんに「これください！」と伝え、品物をもらえるととっても嬉しそうなお表情がみられました。

コロナウイルスの影響もあり、世間的にも夏まつりなどの開催が中止になる中、子どもたちにとっては良い経験の1つになったのかなと感じます。

来年は、年長児としておみこしを頼もしくかついでいるのかな、とわくわくしていた担任でした。

お忙しい中、様々なご協力ありがとうございました。

おねがい

- ◎手、足のつめチェックをこまめにお願ひします。
- ◎暑さも続き、疲れも出てくると思います。食事、睡眠のリズムを大切にしましょう。
- ◎玄関の保育記録の上には幼児合同掲示板があります。そちらも併せて確認をお願いします。
- ♡お忙しい中、毎日のお洗濯や水遊びの準備、本当にありがとうございます。



知らないことがたくさん！

最近、子どもたちの興味が広がったらしいなという思いで、市の図書館に絵本を時々借りに行っています。その図書館に初めて行った時の話です。絵本コーナーに土足禁止の小上がりスペースがあるのですが、私はそれを知らず土足で上がってしまいました。一緒にいた友人が気づき教えてくれ、慌てて脱いだことがありました。そんな経験をして、「知っている人からしたら当たり前のこと、知らない人からすると当たり前ではない」ということに改めて気づきました。そしてそれは日々の保育でも通ずるとも感じました。生まれてからまだ4、5年しか経っていない子どもたち。生活やあそびの中には知らないことがたくさんあります。たくさんを知っている大人からすると、「なんでそんなことを・・・」ということも、子どもは単に知らなっただけなのかもしれません。

何かあった時、まずは実は知らないだけだったのかもしれないと考え、丁寧に物事を伝えていけたらと思います。何回も繰り返すときは忘れてしまったのかな・・・と。それ以上の時には、子ども一人一人に合わせて新しいアプローチをしていけたらいいです。